

日野市子どもと保護者の生活実態調査について

目 的

「第2期日野市子どもの貧困対策に関する基本方針」の見直しをするための材料として、現時点における各家庭の課題やニーズを把握すること、また、令和2年度に実施した調査との経年比較をするためのアンケート調査を実施し、経済的社会的に厳しい状況に置かれた家庭の生活困窮等の実態を把握することで、子どもの貧困の解消に向けた施策の充実に資することを目的とし実施する。

調査の概要

- ◆調査対象 市内在住小学 5 年生とその保護者(約 1,700 世帯)
中学 2 年生とその保護者(約 1,850 世帯)
16～17 歳(高校 2 年生学年相当)とその保護者(約 1,650 世帯)
- ◆調査時期 令和 7 年9月上旬配布 10 月上旬回収予定 *9/3 校長会にて説明予定
- ◆配布物 調査の案内・紙調査票(子ども用・保護者用 各1部ずつ)・大封筒1枚・
小封筒2枚(子ども用・保護者用 各1部ずつ)
- ◆調査方法 回答方法はアンケート用紙及びインターネット回答フォームより行う
 - ①子ども(いずれかを選択)
 - ・紙調査票
 - ・調査の案内(QR コード等)から回答フォームにアクセスし回答(任意の端末)
 - ・GIGA 端末のブックマークに登録されている回答フォームより回答
 - ②保護者(いずれかを選択)
 - ・紙調査票
 - ・調査の案内(QR コード等)から回答フォームにアクセスし回答(任意の端末)
 - ・C4th Home & School より回答フォームにアクセスし回答
- ◆設問数 小学生:42 問 中学生:42 問 16～17 歳:46 問 保護者:54 問
- ◆集計結果

令和7年度中に調査の集計結果を基に分析を行う。結果を活用し、「第3期日野市子どもの貧困に関する基本方針」の策定作業を進める。

◆調査のポイント

- ・ 前回調査との比較ができることを重視しつつ、食住、生活の習慣、学習環境など、今の日野市の子どもに置かれている状況を把握できる設問や国のモデル調査の項目を加えた。
 - ・ こども基本法、こども大綱で掲げられ、日野市において重視している「子どもの権利」に関する設問を加えた。
 - ・ 前回の推進委員会の議論に出ました、自己肯定感や虐待の状況を把握できる設問を加えた。
- 上記のポイントを踏まえ、貧困対策を進める上で必要な情報を得られる設問を残し、前回調査よりも出来る限り設問数を絞り、案を作成。